【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年3月16日(2022.3.16)

【公開番号】特開2020-31909(P2020-31909A)
【公開日】令和2年3月5日(2020.3.5)
【年通号数】公開・登録公報2020-009
【出願番号】特願2018-161494(P2018-161494)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｃ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月8日(2022.3.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技に関する制御を行う制御手段と、
前記制御手段に制御されて遊技に関する情報を表示する表示装置と、
前記表示装置に表示信号を出力する表示信号出力手段と、
リセット信号を出力する初期化手段とを備える遊技機であって、
前記リセット信号は、前記制御手段と前記表示信号出力手段とへ出力され、
前記初期化手段から前記制御手段と前記表示信号出力手段に向けて出力される前記リセット信号の経路から分岐した経路上に信号方向規制手段を設けた
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
パチンコ機では、遊技領域を転動する遊技球が発生するノイズによって、電子回路へ影響が生じることがある。このため、リセット手段から複数の制御手段へリセット信号を出力する場合に、ノイズによる悪影響を抑えて各制御手段を正確にリセットすることが検討されている。例えば、特許文献１に記載された遊技機では、リセット信号の信号線には、各制御基板毎にバッファがそれぞれ設けられているので、リセット信号を停電監視回路からすべての制御基板へ出力する場合に、ノイズの影響を抑えてリセット信号を正確に出すことができる。即ち、停電監視回路と各制御基板とは、ケーブル等により接続されており、その信号線は長くなるが、ノイズの影響を抑えて、リセット信号を確実に出力し、各制御基板に確実にリセットをかけると共に、誤ったリセット信号の出力を防止し、各制御

基板が誤ってリセットされることを防止することができる遊技機が記載されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２００１－３０００９４号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
しかし、前述した遊技機ではノイズの影響を抑制し、基板間で信号を確実に伝送することは考慮されていなかった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、ノイズによる影響を低減できる遊技機の提供を課題とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本上記課題を解決するため、本発明は、遊技に関する制御を行う制御手段と、
　前記制御手段に制御されて遊技に関する情報を表示する表示装置と、
　前記表示装置に表示信号を出力する表示信号出力手段と、
　リセット信号を出力する初期化手段とを備える遊技機であって、
　前記リセット信号は、前記制御手段と前記表示信号出力手段とへ出力され、
　前記初期化手段から前記制御手段と前記表示信号出力手段に向けて出力される前記リセット信号の経路から分岐した経路上に信号方向規制手段を設けた
ことを特徴とする遊技機である。（例えば、段落２４１３～段落２５５１、図２５７～図２６５などを参照）。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明によれば、ノイズによる影響を低減できる。